



# 学校だより

令和 8 年 2 月 吉日  
上越市立有田小学校  
校長 野田 晃

## 「学校」を創っているのは、

1月29日に上越市教育委員会の視察がありました。教育長、教育委員、教育委員会の課長等、11名が来校しました。上越市のすべての学校を順番に視察するのではなく、よりよい教育実践を行っている学校、今日的な課題解決に向けて取り組んでいる学校を視察し、上越市の教育行政に生かしていくものだそうです。今年度の学校視察は3校でした。

有田小学校は大規模校であり、個性豊かで様々な児童がたくさんいます。また、学習や人間関係づくり等に不安を抱えている児童もたくさんいる学校です。トラブル等たくさん起こりやすい学校と言えます。しかしながら、教職員が一人一人の児童に寄り添い指導や支援を行うことをとおして、保護者や地域の方々から教育活動を支えていただくことをとおして、子ども同士のトラブルが非常に少なくなり、子どもが安心して登校し、意欲的に学習したり、友達と仲良く楽しく生活したりできるようになってきました。そこで、実際に有田小学校では、どんな風に教職員が子どもと接しているのか、また、子どもたちはどのように学び、生活しているのか等を視察に来られたということです。

授業参観中、授業参観後、教育委員の方々からたくさんの称賛をいただきました。「子どもたち、とっても明るいですね」「友達同士の仲がいいですね」「一生懸命、話を聞いていますね」など、です。また、先生方（教育補助員、介護員等すべての教職員が含まれています）に対しても、「笑顔がいいですね」「子どもたちとの関係が素晴らしいですね」「その子の状況に応じて接していますね」など、よい姿をたくさん見ていただきました。さらに、「有田小学校のイメージが大きく変わりました」「来て見るものですね」「大規模校で大変な学校だと思っていましたが、とっても素晴らしいです」など、心から驚かれて伝えてくださった方もいらっしゃいました。さらに、「有田小学校の実践は、他の学校に伝えているのですか。論文は書いたのですか」とおっしゃってくださった方もいらっしゃいました。「自分もみんなも大切にす」実践、「よりよい言葉に変える」全校での取組等を高く評価していただきました。有田小学校の子どもたち、そして教職員をたくさん褒めていただき、とっても幸せな気持ちになりました。また、誇らしい気持ちにもなりました。教育委員会の視察も、なかなかよいものだなあ、と思いました。

2月の「ありペンたーペン集会」のとき、子どもたちに「この気持ち」を伝えたくて、教育委員会視察のことを話しました。「教育長」「教育委員」という単語を言うたびに、意味がよく分からないのか「きょとん」とした顔がたくさん見えましたが、「有田小学校の子どもたちは、一生懸命学習していて、友達や先生と仲良く協力して活動していて、とても素晴らしいと、教育委員の方々からたくさん褒めていただきました。これは、皆さん一人一人が『自分もみんなも大切にしよう』と頑張ったから。『あたたかい言葉』や『ありがとう』を伝え合うことを頑張ったから、です。皆さんが頑張ったから、どんどん素晴らしい有田小学校になっています。これからも、頑張ろう」と伝えました。本当にそのとおりだと思います。「有田小学校」を本当に創っているのは、子どもたち一人一人ですから。